

発見かんざき —北から南から—

平家と神埼とのつながり

今年のNHK大河ドラマは「平清盛」です。

このドラマの主人公である清盛は、言わずと知れた平家の棟梁。平家と言えば「平家にあらずんば人にあらず。」と言われるほどの栄華を極めた武家の一門ですが、その繁栄の基礎を作ったのが、ここ神埼の地であることを皆さんご存知でしょうか？

その昔、神埼の地は朝廷直轄領である院領で「神埼荘」と呼ばれており、その広さは三千町歩だったとも言われています。

ドラマの中で三上博史演じる「鳥羽上皇」の時代、中井貴一演じる「平忠盛」が瀬戸内海の内海を討伐した功績により「神埼荘」を管理支配することを許されます。そして中央から遠く離れた神埼の地を手に入れた忠盛は、中国の「宋」との密貿易で巨万の富を築いていきます。当時、宋からの交易船は博多湾に入港し、大宰府が貿易を管理していました。しかし、その管理を嫌って有明海から入ってくる宋船もあり、忠盛は大宰府の目を盗んで、この有明海から入ってくる宋船と直接貿易を行なっていくのです。このようにして得られた潤沢な資金によって、忠盛は息子の清盛とともに中央政界で勢力を伸ばしていったと考えられます。

実際に宋との貿易を裏付けるように、神埼町三丁目あたりからは宋のお金である「宋銭」がたくさん出てきておりますし、サピエやマルキョウが建っているあたりからは、輸送中に割れたと思われる宋の焼物の破片が、多数出土しております。

こういった「平家と神埼とのつながり」なども踏まえてドラマを観れば、また違った楽しみ方が出来るのではないのでしょうか。



1900年の歴史をもつといわれる櫛田宮

2月26日（日）の放送では、本編終了後に流れる「清盛紀行」のコーナーにて神埼のことが紹介されますので、ぜひともお見逃し無く。（再放送は3月3日（土）13時05分～）

編集後記

1月に入り、大変寒い日が続いており、皆さん元気で過ごすごですか。

さて、「議会だより」の編集広報委員として、7回目の編集校正作業にタッチして、見たい・見やすい・読みやすいを目標に議会だよりに取り組んでいます。出来るだけ写真を多く、文章を簡単にした議会だよりを目指していきますので、市民の皆さんの御意見を聞かせて下さい。

最後に、風邪を引かないように、十分気を付けてお体を大切にしてください。

（記 中野）

広報委員会

委員長	白石 昌利
副委員長	中野 均
委員	古川 裕紀
委員	原口ひさよ
委員	野副 芳昭
委員	養原 忍